令和8年度　水洗小学校　学校紹介リーフレット

筑後市立水洗小学校

学校教育目標　**目標に向かって進んで学ぶ、人とのつながりを大切にし、共に生き抜く力を持つ子どもの育成**

目指す児童像

す・・「すいすい」進んで行う子、**い**・・「いっしょに」活動し喜び合う子　**せ**・・「せいいっぱい」がんばる子　**ん**・・「ん？」を見つける子

教育課題

◎「読解力や表現力」の育成
- ・正しく理解する（インプット）
  →正しく読む
- ・深く考える（交流し多面的に深める）
- ・考えを確かに表現する（アウトプット）

◎　語彙力の向上

○　不登校・兆候児への対応

重点目標

情報を正しく生かし、
考えを表現できる子どもの育成

経営課題

◎「読解力や表現力」に重点を置いた授業づくり　⇒国語科を中心とした授業改善

◎　個々の良さや伸びを認め合う学級経営力の向上　⇒安心できる学級の風土づくり

○　組織的運営（チーム力の向上）の促進
⇒Do—CAP（短いスパンでの評価改善）

経営の重点

（1）「情報から考え表現する」活動の位置づけ（授業づくり）
（2）良さや伸びを認め合える学級集団力の向上（支持的風土づくり）
（3）支え合い協働する職員集団での組織的運営の促進（チーム力づくり）

組織的な学校運営の促進

○　小中連携を進め、協働して子どもの育成にあたる。
・ICTを使用した個人最適な個人学習の設定～子どもが自己決定して取り組むジャストスマイルドリルタイム～

○　諸会議の削減と超過勤務の10%縮減を図る。
- ・　年度当初の休業中に年間の行事等の提案を全て行い、冊子化をする。
- ・　実践後すぐに次年度への改善策の策定をする。（Do-CAPサイクル型）

○　学級事務の時間確保のために、時制の見直しを行う。

授業力・学級経営力の向上に向けた教育活動

○　「わかった」⇔「できた」を実感・共感できるような学習環境作り

○　内容を精選し、各学習の1単位時間で「できるようになること」を明確にし、全員が参加することのできる授業づくりを行う。

○　重点教科を国語とする。
- ・「言葉」に着目させた活動
- ・各教科領域に於いて「読解力」「言語活動」に重点を置いた指導（「聴く」「訊く」「対話できる」）

○　めざす子ども像の達成と取組の実施（実施指標と成果指標）の観点から、評価の内容・方法・時期を工夫する。

○　道徳科については、重点目標達成の視点から「A-4個性の伸長」「A—5希望と勇気・努力と強い意志」を重点項目とする。

○生活科・総合的な学習の時間の充実を図る。（SDGs・ワンヘルスの視点）

指導力の向上を目指す研修の充実

○　国語科を重点教科とする。
- ・「わかる・できる授業づくり」を中核にした研修の充実
- ・読みの授業の基本な組み立ての共有
- ・対話交流から自己の読みの深化へつなぐ指導

○1時間の内容を明確に、交流し深める場面を位置づけた授業

○　ICTの効果的活用やプログラミング教育等、タブレット学習の充実

○　OJT・OFF－JTの推進を図り、広い視野での職員の資質向上

○一般研修の充実
・人権・同和教育、特別支援教育、生徒指導等の研修の計画的に推進

信頼される学校づくり

信頼される教師

○ 指導力、人間性を磨き、正面から子どもと向き合う教師
○ 深い教育理念をもち、教育的瞬間を生かして厳しさと温かみのある指導を行う教師
○ 組織の一員としての自覚を持ち、目標に向かって協働し合う教師
○児童にも地域にも信頼される教師

信頼される学校

○明るく楽しい学校
○落ち着きと潤いのある学校
○保護者・地域に信頼される学校

家庭・地域との連携

○　地域の教育環境の積極的・効果的活用を図る。
○　学校から家庭・地域へ情報公開する。
○　「水洗育むッ隊」との連携を図る。